第１回　みやぎ名取シーサイドマラソンに参加して

菅原孝一　記

市内駅伝と同日開催だったが、１ヶ月以上前に高いエントリー料を入金して楽しみにしていた大会だったので、斎藤事務局長さんには大変な思いをさせてしまいましたが、名取の大会に参加してきました。

フル、ハーフ、１０ｋ、リレーマラソンなどたくさんの種目がありましたが、最近フルを走りきる自身がないのでハーフにエントリーしました。

閑上のサイクリングコースは風もなく青空が広がり、天候に恵まれ気持ちの良いマラソン日和でした。

ペースメーカーが付いていた大会でしたので、とりあえず１時間５０分の後ろについて走りました。

１５ｋｍくらいまでペースメーカーにぴったりついて走れたのですが、後半疲労とともにスライドがせまってくなり、３００ｍほど離されてゴールしました。最近は早朝にチンタラ歩いたり走ったりの生活なので、当たり前の結果とも思いますが、ちょっと悔しい感じでした。

１時間５１分２３秒
ハーフマラソンの部　総合
１４１／３５３
年代　６０～６９歳
１０／４７

ゴールしてのガッツポーズ

宮古サーモン・ハーフマラソン大会に参加して

細川慎一　記

十一月十四日、「第三五回宮古サーモン・ハーフマラソン大会」のハーフに参加してきました。

エントリーしていた北上マラソン、一関国際ハーフマラソンの相次ぐ中止で行き場のなくなった楽しみをため込み、遠くまで足を伸ばして走ってきました。

これも当初は開催が危ぶまれましたが、コロナは減少傾向になり岩手県民限定と言うことで開催となったものです。

大会にはハーフ二五四人、十キロ四二一人、五キロ二一八人、ファミリーの部二三〇人の計一一二三人がエントリーし、限定した大会でも賑やかなものとなりました。

ハーフは宮古湾の海を見ながら海岸線を二回周回するコースで、多少のアップダウンはありましたが、今までにない感覚の素晴らしいコースでした。

午前九時四〇分、五秒間隔のウェーブスタート。快晴となり、青い海を見ながら波の音を聴き、足の方も軽やかに回りました。

一七キロ地点あたりから少しに苦しくなってきたものの、極端にラップを落とすことなく最後まで粘れました。

結果、ＰＢには届かなかったものの目標としていた二時間切りは達成できました。「よく頑張った。自分で自分を褒めたい」と誰かが言っていましたが、そんな気分でした。

「マラソン大会はやっぱ楽しい！」記録一時間五八分三一秒、一五七位／二五四。

ゲストランナーに青学大陸上部七名、東洋大四名が参加し、私が一周目で危うく二周抜きされるところでした。

彼らは私の二倍近くのスピードで、一緒に走るととんでもない速さであることを実感しました。「本当にはえ～っ」

サーモンと名のつく大会に出たので宮古魚菜市場に寄り、いくらとサーモンをお土産に買って帰りました。

Ｔシャツ、弁当付きで大会参加費二千円は安っ。

記録証を胸に記念写真

50周年記念誌　原稿募集！

・記念誌に原稿をお願いします
一人、原稿用紙1～2枚程度
・期限は一二月末日。
・写真一～二枚
・データーの提出
大会出場記録
①種目
②年齢
③タイム
④大会名
⑤日時
大会参加回数
年間走行距離

発行予定　令和四年
担当　記念誌部会長　大越昭夫

楽しい思い出など、明るい記念誌にしましょう！

役員会及び50周年記念事業実行委員会合同会議

・日時　12月　9日（木）　午後６時
・場所　丸東工務店会議室
・議題　①元旦マラソン
②50周年記念（式典・記念事業・記念誌）

10月ＭＶＰ走行距離

※　毎月の報告をおねがいします。

順位	名　　前	10月走行	累計	累計順位
1	阿部　隆	306	2,813	1
2	大越　昭夫	290	2,128	5
3	小野寺卓司	257	2,292	2
4	佐藤　隆義	249	2,132	4
5	菅原　孝一	207	2,140	3
6	西城　　孝	153	1,503	6
7	須藤　正男	153	1,398	8
8	佐藤　文政	101	1,404	7
9	小野寺良信	97	668	11
10	菅原　楯夫	80	747	9
11	平澤　和則	38	419	12
12	齋藤　祐二	10	264	13
13	千葉　健一	10	43	17
14	佐藤　東	2	714	10
15	畠山真佐美	－	201	14
16	熊谷　秀雄	－	60	15
17	長澤　茂	－	55	16
18	川向　愛人	－	40	18
19				

未報告の方は次号にて修正しますので
事務局まで連絡願います。